

意見・要望等まとめ

【回答欄の説明】

- 基本的には、報告会当日に議会が回答した内容を記載しています。
- 公表にあたり、担当課が補足した箇所は赤字アンダーラインとしています。
- 【 】には所掌の委員会や担当課を記載しており、後日、回答を作成しています。
- その他、担当課への伝達など、対応のみ記載した項目もあります。

【議会からの報告事項（上下水道料金の改定について）】

会場	担当	意見・要望等	回答
阿多田漁協	A班	水道料金のA案とB案の比較の表がない。	口頭での説明で了解していただいた。
サントピア 大竹	A班	水道料金が上がるのは仕方ない、老朽化した設備の整備など他所を参考にし て行っていただきたい。	そのようにして取り組んでいきたい。
アゼリア おおたけ	B班	市の自己水と県水と質の差はあるのか？	濾過方法などが異なるため、質に差はあるがどちらも基準内 であり、安心して使っていただける品質になっている。
		水道料金が県内で一番安い理由は？	様々な歴史的な背景があるが、旧日本軍などが上水の管を整 備していたことにより、新規で上水を整備していく費用が抑 えられたことが要因となっている。
		他市との水道料金を比較して説明してほしい。	【上下水道局】 令和5年4月時点で近隣各市の一般（家事）用口径13mmの 10mの水道料金は次のとおり。なお、大竹市の水道料金は料 金改定後の金額。 ・大竹市 797円 ・広島市 891円 ・廿日市市 1,385円 ・岩国市 770円
おがたピア	B班	業務用の水道料金は下げられていたが、一般用は下げられなかったのか？	業務用と一般用の金額差が大きく、業務用は20mからの価格 設定であったが、8mの設定を設けた。業務用とはいえ用途 により使用水量には大きく差がある。その点の解消を目指し た結果このような料金改定となった。
		弥栄ダムから取水をしているのは市の事業か？1000万円の減額の経緯は？	県の事業で、大竹市も参加している。経緯としては、かつ て、水不足が心配されていたことにより参加していた。 R5年 度から県西部用水の単価が減額改定されるため購入金額は前 年度と比較して、約1000万円減額される。
		子育てに力を入れていると謳っているが、水道料金の影響を受けて苦しいと 思う。このような値上げは政策に逆行するのではないのか？	子育て支援については、今後給食費の無償化について取り組 みをしていくと議会への説明があった。加えて子ども医療費 500円などの施策がとられており、多方面から支援がある。 水道料金だけを見るとそのように感じるかもしれないが、子 育て支援に逆行するということはないと思う。

松ヶ原 集会所	C 班	修正案で、一般用の負担が増え、業務用が安くなったのはどうしてか。	事務所で飲み水しか使わない場合もあり、家事用との差がありすぎるため、その格差を是正するため、県からの1000万円を利用しようとするもの。それでも一般用の方が安くなっている。
		一般用を調整しなければならない訳が分からない。料金体系がよく分からない。一般用がふえて、業務用が少なくなるのはいいか。	業務用が下がって一般用が増えるのは、業務用で使用量の少ない人への配慮です。
		水はどこからきているか。	小瀬川、防鹿の水源地から三ツ石調整池を経由し配水している。また、県用水として弥栄ダムから県の三ツ石浄水場を経由して黒川の一部や玖波、松ヶ原地区へ配水しているものもある。
		上水は下がっているのに、下水は上がっているのはどうしてか。	使っていないのに支払いが生じる基本料金を見直そうというもの。最終的には業務用と一般用の料金体系を統一するための経過措置です。
総合市民 会館	C 班	水道管敷設について、水道料金にパイプ交換の費用などは反映するのか。将来のメンテナンスの料金もはいつているのか。	水道は独立採算なので、老朽化などの改善費用も料金に反映している。
		水道管のメンテナンスなどの将来計画はあるのか。	水道局のホームページに将来計画も含めた経営戦略を掲載しているのでそちらを読んでいただければ安心材料になると思う。改修に毎年1億5千万円かけても100年かかると聞いている。かなり厳しい状況ではある。

【議会からの報告事項（議員定数について）】

会場	担当	意見・要望等	回答
栗谷小学校	A 班	選挙の看板・ポスターは無駄、お金のかからないことを考えてほしい。	【議会改革特別委員会】 国のルールであり、大竹市議会としては処理できない。
サントピア 大竹	A 班	人口も減少している中で、議員の削減はあっていいのでは。	将来的に削減はやむを得ないと、考えている議員が多い。
おがたピア	B 班	他市と比べて議員数などの比較をしたのか？多いのか少ないのか？	人口規模で近い江田島市が16名、竹原市は14名、安芸高田市16名で大竹市が突出して多い少ないということはない。
		議員定数を考える際に市民の声は聴いたのか？	議会改革特別委員会ではそれぞれの委員が市民から意見を聞くとともに、議会報告会で議員定数についてアンケートを集め、その結果も参考にしながら協議して、結論を出している。
		市民の意見を聞く場を多く設けてほしい。	【議会改革特別委員会】 市民の皆さんの声を直接うかがう機会を充実させていきたいと考えています。
玖波公民館	B 班	議員のなり手不足という点についてどのように考えているのか。若い人・女性に参加できる仕組みは作れないのか？	議会改革特別委員会では改選後すぐに「なり手不足の解消」というテーマで議論を進めてきた。去年は議員定数の結論を出したが、その前の前半二年間ではYouTubeの委員会中継やSNSの発信など見てもらえる努力、知ってもらう努力を行ってきた。その後、仕事の充実ということで決算審査終了後に議会提案できる仕組みを作るなど改善を行ってきた。
		前回無投票で今年も無投票になったらどうするのか？無投票が続くようなら他の街と比べて定数が多いという受け止めはしていないのか。	江田島が16名、竹原が14名という数字である。委員会内で議論していく中で様々な意見が出たが、議会報告会でのアンケートなども基にしながら適切な数字であるという結論を出している。改選後も定数については話し合っていくことになっている。
		議員一人当たり市民の人数はすぐにはわかると思う、その点を考慮しながら他市などと比較したのか？	他市との比較などは行いながら、議員定数については議論をしてきた。人口規模だけでなく経済規模、土地の面積など様々な点を考慮しながら議員定数について議論を行ってきた。
		事前に立候補をする人、選挙になるかどうか早くわからないのか？	公職選挙法上、事前の活動は難しく、告示日に立候補の届け出をするまでは選挙となるのか何人の立候補者が出るのか分からない状態である。
		議員の仕事の見える化があれば定数についても理解が得られると思う。YouTubeなど定点で長時間なので、要約したものや見てほしい点を発信してはどうか？	【議会改革特別委員会】 議会活動をより親しみやすく、分かりやすくするなど努めていきたいと思います。
		議員定数について市民にアンケートをさらに行ってほしい。	【議会改革特別委員会】 今後、議員定数の見直しを検討する際には、市民の皆さんの声を、どのような形で反映させていくか、手法を含めて検討していきます。

安条集会所	C班	定数は16人より14人のほうがよいと思うのだが。議会報告会では削減の意見はなかなか出ないのではないか。減らすほうがいいという意見が多い、意外だ。広域で市民にアンケートしたら削減したほうがいいのかとの意見が多いのではないか。	大規模なアンケートは難しいものがある。報告会のアンケートは意外だった。どのくらいが適当か定数の公式はない。常任委員会が2つで8人ずつ。いろんな立場から審議するにはあまり減らすのはいかなものかと思う。議会の存在意義を示すことが必要。何人がぴったりにかはむずかしい。投票権が18歳になったのに投票の機会がなかったのは問題。議員が定数削減を決めるのは難しいので、第三者機関などの提案によるべきでは等々、議員がそれぞれ意見を述べた。
		残念なことに、議会報告会での市民アンケートの数が35人では少ない。もう少し多くの市民の意見をきくべきではないか。	これで終わりではないのでご理解を。
		統一選への合流はどうか。	解散しなければならず、なかなか難しいのではないかと。解散すれば、市長選との合流は可能だ。
松ヶ原集会所	C班	定数削減でも少数の反対意見の尊重が大事ではないか。	【議会改革特別委員会】 これからも市民の皆さんの声を大切にして、議会活動を進めていきたいとします。
総合市民会館	C班	定数16は人口比で見たときには、広島県でどのような位置にあるか。多いほうか、少ない方か。	人口比はいままで国の法律で示されていたが、国は示さなくなった。大竹市は安芸高田や江田島と同じで、竹原は14。一般の傾向からどのくらいが適当か示すのは難しい。定数削減は議員にとって不利なので議員が決めるのは難しい。以前、市民から定数削減の陳情が出て決めたことがある。
		自らの利害に関係するので議員自身が削減するのは難しいので第三者委員会などを設置して検討してもらったほうがいいのか。	【議会改革特別委員会】 今後、議員定数の見直しを検討する際には、改めて検討の在り方を考えていきたいとします。

【意見交換】

会場	担当	意見・要望等	回答
栗谷小学校	A 班	休校と閉校の違いは。	【総務学事課】 休校は今後再開の可能性を残していますが、閉校は再開はありません。
		マロンの里で作っている特産品を、小学校でつくったほうがいい。	産業振興課に伝えました。
		三倉岳に来る人がたくさんいるので、宿泊施設やお金を落とす場所にしたらいいのではないかな。	総務学事課に伝えました。
		小学校は再校が望めないなので、閉校にした方がいい。	総務学事課に伝えました。
		ピアノがあるので活用させていただきたい。	【総務学事課】 地域からの要望があれば、活用方法について協議させていただきます。
		グラウンドゴルフ場にしたら。	総務学事課に伝えました。
阿多田漁協	A 班	イノシシの被害がかなりある、家庭菜園をあきらめる人もいるし歩いていても怖い、どうすればいいか教えてほしい。	狩猟免許の取得や箱罟などの補助をしている。
		防護柵の費用はどれくらいかかるか。	農地の防護柵は一人5万円を上限に半額を補助している。
		行政から来てほしい、イノシシの生態が分からない。	産業振興課に伝えました。
		防護柵を設置する人がいない。	産業振興課に伝えました。
		行政からイノシシ対策の講習をしてほしい。	【産業振興課】 日程等を調整し、講習会を開催することができます。

サントピア 大竹	A 班	用水路の開口部にふたをするか道路との境に柵をしたらいいのでは。	部分的に行っていく必要がある、ふたをすると保守点検が難しくなる。
		蓋をしているところが流れが悪くなっているのでは、点検してほしい。	土木課・上下水道局に伝えました。
		小島調整池は浚渫をしないのか。	浚渫をしなくても機能的に問題はないと聞いている。
		水路の清掃や除草を自治会などで行っているが、高齢化して困難になっている。	【土木課】 大竹市内の美化にご協力いただき感謝しています。この件につきましては、多数の自治会より同様の意見を伺っており、自治会での清掃や除草困難な箇所、道路や水路などの施設については土木課で管理を行っています。しかしながら、大竹市内全域の施設を管理するには、多額の費用も必要となることから、自治会の皆様のご協力を可能な範囲でお願いすることとなります。引き続き市民の皆様のご協力をいただきながら適正な管理に努めてまいります。
		お金がかかるが雨水を一時的に貯める地下貯水場の建設を考えてはどうか、また水路の蓋は全面ではなく半分にして、半分はグレーチングにして歩道を付けるようにしてはどうか。	【上下水道局】 雨水貯留槽については、例えば各ご家庭の敷地など降雨地点で雨水を一時的に貯留することにより雨水の流出を抑制するもの。また、流出した雨水を集めて降雨地点とは別の場所で貯留する方法がありますが、この方法は集水する雨水量も多く施設規模は大きくなります。これらの雨水貯留施設は雨水の流出量を一時的に削減することにより、浸水被害の軽減効果が期待できますが、浸水対策は雨水を管や水路、ポンプにより支障なく河川等に排水することを基本としています。ご意見の雨水貯留槽などの雨水の流出抑制施設は、管やポンプ施設を補完する施設として位置付けるもので、基本的には管やポンプ施設で雨水を排水する方法が良いと考えています。

アゼリア おおたけ	B 班	ポンプ場の整備についてポンプ場・出口・道路など順番や優先順位はあるのか？	都市計画決定された内容で現状、進めている。その中で、出口については国との交渉が進んでいる。
		他市の事例でポンプ場にこだわらない内水対策を講じることはできないのか？	パネル型の土のうなどを取り入れているが、数や設置方法に限りがあるので局地的な対策に留まっている。
		ポンプ場の土地の買収など今の計画について市はどのくらい展望をもっているのか。	市としては人命を守ることに重きを置いているので、進捗が遅い印象があるかもしれない。行政としては時間がかかっても着実にやっていくという思いをもっていると感じる。
		ポンプ場以外の方法でも良いので、目に見える形でも内水対策をしてほしい。	【上下水道局】 ポンプ場の整備などによる内水浸水対策は規模も大きく、多額の費用がかかり、効果の発現には長期間を要します。ポンプ施設等による抜本的な浸水対策ではありませんが、既設水路の浚渫など浸水被害の軽減に資すると思われる事から取り組んでいきたいと考えています。
		他の水路へ排水していけるように考えてほしい。	【土木課】 他の水路に排水するには、その水路が受ける区域や適切な水路断面の検討が必要となりますので、既設水路の浚渫など浸水被害の軽減に資すると思われることから取り組んでいきたいと考えています。
おがたピア	B 班	小方新駅の調査費1000万円では一体何をするのか？	以前は小方駅の可能性について調査していた。今回は新設するにあたって、利用者の状況など幅広い調査結果がJRとの具体的な交渉・協議に必要なため、コンサルを入れて行うものである。
		小方駅は何年を目処に進めてきたのか。	大竹駅再整備についてのJRとの協議が終了しなければ、小方駅に手を付けることができなかった。実際に実現させるといことで、年数の具体的な話はできないが執行部も取り組んでいる。
		旧小方小中学校跡地の土地を早く手放してしまったほうがいいのでは？新聞報道で整理ができていないから売れないと出ていたがどうなのか？	現状で跡地を売却してしまえば、駅ができた際よりも不利な条件になる可能性が高く、駅の有無により大きく異なってくる。売却のための整理はほぼついているという説明を受けている。
		小方駅新設の際に住民の負担が無いように行ってほしい。	企画財政課・都市計画課に伝えました。
		小方地区には医療機関が少ないので跡地に医療機関を作って欲しい。	企画財政課に伝えました。

玖波公民館	B 班	今回の班のメンバーは玖波の議員がいない。玖波公民館というテーマなのになぜいないのか。	第1回目からくじ引きで班編成を行っている。不公平感をなくすための処置であり、地元議員のいない地区もあることからご理解頂きたい。テーマについてはこの班員でテーマを決め報告会の会議で決定されている。各地域の結果は全議員に共有できるように報告書など作成し、議会として頂いた意見を活かしていきたい。
		玖波公民館は交流の場としてある。今後できる予定のものはどのような違いがあるのか？	基本的な機能は残しながら、法的制限が緩和されるため、様々な用途で使用できるという説明を受けている。
		提示された図面であれば公民館まつりなど今まで行ってきた活動ができない。	<u>あくまで市が考える最適案として場所も含めて示したものであり、詳細は</u> これから令和5年度に計画を作って行く予定になっている。パブリックコメントなど市民の方から意見を伺う機会を活かしてほしい。
		もうすべて決まったことではないのか？屯所もはいるのか？	建て替えをする方向性 <u>及びコミサロ機能を統合する方向性は決まっているが、屯所が入ることは、市が考える最適案として場所も含めて示したものであり、決定しているわけではない。</u> 公民館機能を残しながら、 <u>住民の意見なども踏まえて整備できるように考えていくと聞いている。</u>
		この公民館は日本一という称号がある。公民館機能を残してほしい。	企画財政課・生涯学習課に伝えました。
		玖波公民館という名前がなくなるということが許せない。これまでの歴史がある。	企画財政課・生涯学習課に伝えました。

安条集会所	C 班	交流施設の今後の動向について、地元の穂仁原地区が管理するのが一番いいのだが。高齢化でどうにもならないのではないか。	【土木課】 当該施設の維持管理につきましては、これまでも川手連合会と調整しているところです。市としては、主に使用していただく地域の皆様に利用しやすいよう管理をお願いしたいところではありますが、地域の事情等により困難な場合は、施設管理者である土木課で、他の施設と同様の管理に努めてまいります。
		少子化の対策は難しい。国や自治体の問題では。買い物調達が大変。車のない家は大変でボランティアをすることも。バスは便が少ないし、不便だ。岩国市は高齢者のタクシー補助など行きいろいろ便宜を図っている。行きはバスに乗っても買い物後はタクシーを使いたい。何らかの補助がほしい。	【地域介護課】 タクシー補助の導入にあたっては、新たな財源を必要としますので、現状では岩国市のような高齢者に対する補助は考えていません。 【自治振興課】 坂上線バスは、大竹市と岩国市が共同で運行しており、大竹駅と岩国市美和町鮎谷を結ぶ長い路線を運行しています。この路線をバス1台で1日4往復するため分刻みで運行しており、現段階では現在の便数の増加は難しい状況です。今後とも、地域における公共交通を維持するとともに改善に努めていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。
		井戸の水が出なくなってボーリングで50メートルぐらい掘って対応している。行政支援がないのでどうにかしてほしい。人の命にかかわる。	【環境整備課】 水道法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律等の適用を受けない飲用井戸等について、設置及び管理は、設置者等で行ってもらうため、同様に飲用井戸等を利用している他の地区も含め、設置整備に係る支援はしておりませんが、県内自治体など事例等の調査は行ってまいりたいと考えています。
		比作の簡易水道は組合を作って管理しているが、高齢化もあり後継者がいなくて困っている。比作の30軒では対応できないのでなんとかしてほしい。同様に後飯谷も困っている。	【環境整備課】 上記と同様、飲用井戸等について、設置及び管理は、設置者等で行ってもらうため、同様に飲用井戸等を利用している他の地区も含め、維持管理に係る支援はしておりませんが、県内自治体など事例等の調査は行ってまいりたいと考えています。
		採石場の残土積み上げは危ないのでなんとかしてほしい。	【産業振興課】 広島県の担当部署に伝達します。
		比作の集会所に入る橋のメンテナンスについて市に要望したが対応してもらえなかった。地区も高齢化しているので対応をお願いしたい。	【土木課】 当該橋梁は、大竹市で管理する施設ではなく、集会所建設時に地元で設置された橋と認識しています。地元の事情についても理解できますが、市で対応することは困難であると考えます。

松ヶ原 集会所	C 班	耕作率は5割前後ではないかと思う、放棄地に入っていないけれども、耕作地の減少は危機的なものがある。農地に関する座談会をすればという話があり、20人程度が参加し意見交換をしたが、何がどうしたらいいかとなった、具体案が出ない。できることをやっていこうとなったが、いい知恵が出ない。果たして農地を維持することに意義があるのだろうかという意見もある。イノシシの柵の補助はある。利用しやすいメニューを行政に出してほしい。	【産業振興課】 3月28日に松ヶ原地区で農業の説明会を実施し、今後の地域農業について、一緒に考えていく説明をしました。JAの農機具の貸出も情報提供しました。
		耕作放棄地防止のために松ヶ原にトラクター1台を配備してもらえれば。市役所が買って自治会に貸与してほしい。農地の荒廃防止に役立つ。	
		農家が10人、女性も含めて計20人くらい。じゃあどうするかといえば、それから先に進まない。野菜作りにもトラクターは必要。トラクターがあれば、入れる道は8割ぐらいある。人を呼び込むためにはやりやすい環境づくりにトラクターは必要。	
		廿日市市はJAにトラクターの補助金を提供しているので、レンタルできる。高齢化で個人的な設備の買い入れは難しいし、体調の面もある。放棄地が増えるばかり。今後、こぶしの里に出せる野菜ができるか。気力はあっても体力が続くのかというのが現実。	
		農業をやりたい人を探して応募しても、農業機械がなければどうにもならない。来てもらうことはできない。市が活用できる方策を考えてほしい。	
		油見在住で畑を借りて野菜を作っている。農業に興味があるが、新規就農について、貸す側と借りる側の窓口がよくわからない。ハードルが高いのではないか。機械を購入してもらえれば、ぜひ借りたい。耕作放棄地解消に協力したい。	《意見・要望》 産業振興課にも伝えました。
		1台持っても永久に使えるわけではない。新しく買おうと思うと150万円くらいかかる。投資する力がない。中山間地の農民にはほぼ収入がない。一式そろえるには1000万円ほどかかる。新しい人に来てもらうのは難しい。産業振興課からの呼びかけで討議したが、2度目の会議では市からは何ら提案らしきものがない。市に何をいっても期待できないと諦めのムードがある。何か議会に期待できるのかという気分がある。	
		皆さんが松ヶ原のことをどのくらい知っているか。肌で感じる行動をとっていただけか。災害での陥没道路がまだ通れないので合併浄化槽の清掃ができない。やっと計画を示してらった。松ヶ原地区は議員が出せず弱いところ。少しでも気にかけてくれる人がいて中山間地のことを考えてくれれば。	
		路線バスについても、市の方から前向きな提案がほしい。	路線バスかデマンド交通がいいのかななどの問題もある。
		耕作放棄地の件については、地域の美観を損ねかねない。行政が放棄地をかりて、機械をそろえてやると、景観はよくなる。作付けは鳥獣被害を受けないものを。松ヶ原は飛び地扱いになっている。空き家25軒のうち、13軒は使える。更地にすればお金がかかるし、なぜ売れないか、行政と一緒にやっていく。高齢化率は58%で限界集落。人は減るばかり。住みよいまちといいつながら人口は減っている。大竹市全体を考えていないから。選挙の時だけでなく平常から行脚を。	《意見・要望》 産業振興課・企画財政課・都市計画課にも伝えました。
		テーマは適切ではないか。議会で取り組んでくれるのはありがたい。	《意見・要望》

総合市民 会館	C 班	下水道の処理について。下水と川の線引きは、河川法とのからみはどうなっているのか。油見に在住だが、以前道路が陥没した時に管理者がわからないので連絡できなかった。広島県は土砂災害危険区域が全国一多い。避難などどうするのか。	法的なことは調査してみます。管理は土木課がしています。 【土木課】（前段の質問への回答） 道路陥没を発見された場合は、まずは道路管理者である土木課に連絡をお願いします。 現場を確認し、道路陥没の原因を調査して、関係する部局が対応を行います。 【危機管理課】（後段の質問への回答） まず、大竹市ホームページ上で公開している土砂災害ハザードマップで、お住まいの場所の状況をご確認ください。レッドゾーンやイエローゾーンにお住まいの場合は、大雨などで土砂災害を警戒した避難情報が発令された際、すぐに避難ができるよう、避難場所や避難経路、非常持出品など日頃から備えておく必要があります。
		立戸は上流から水が流れてくるので市に対策をしてほしい。	ポンプをつくって排水するしかない。みなさんの考えを聞きながら意見をまとめてもらって対策をやっていくのが、難しいこともある。市では污水整備の方が優先され、雨水対策は遅れている。
		立戸地区のポンプのスイッチはどうなっているのか。	自動でスイッチは入る。
		元町地区は雨水と下水管が一緒になっていることがある。大雨が降ると下水がいっぱいになってトイレが使えない。	【上下水道局】 元町地区の下水道は大竹市の中でも早い時期に整備を行っていますが、各家庭から下水道管に排水する管に陶管を使っている箇所も多く、これらの管などから下水道本管に地下水や雨水が大量に侵入することにより管内が満水状態となって、各家庭からの污水排水が流れにくい状態になったものと考えられます。また、近年の各敷地の排水設備（污水配管）は、塩ビ樹蓋等で密閉性が高く、污水排水管内に溜まった空気が抜けにくい構造となっているために、管内に溜まった空気が污水の流下を妨げている場合もありますので、このような場合には、敷地内の排水設備に設置してある污水樹蓋を開けて管内の空気を抜くことにより、排水不良が改善される場合があります。
		業者が接続を間違えて工事した場合、上下水道局は関知しないのか。	家を建てたら確認申請がありチェックはしているが、その後変えたりするとチェックできない。
		三菱レイヨン（現三菱ケミカル）内に敷設されているポンプの電気代はどこが払っているのか。	【土木課】 大竹市と三菱ケミカルで施設の維持管理業務にかかる委託契約を交わしており、電気代等は、三菱ケミカルが負担しています。

【その他のご意見】

会場	担当	意見・要望等	回答
栗谷小学校	A班	教員住宅が空き家になり荒れている、きれいにしてほしい。	【総務学事課】 定期的に除草等を行い迷惑をかけないように対応します。
		中学校の体育館の利用料が安くないか。	【総務学事課】 施設の維持管理費等がかかるため受益者負担の原則により利用料の負担をしていただいております。利用料を減免することができる場合もありますので、詳しくは総務学事課にお問い合わせください。
		空き家バンクの制度はないのか。	空き家バンクの制度があるが登録した件数がない
阿多田漁協	A班	阿多田は特に騒音がひどい、空母艦載機交付金を活用して、70歳以上に補助しているフェリー代を60歳引き下げるとか、拡充してほしい。	令和5年2月に議会へ陳情書が提出され、現在、審議継続中です。
		道路の状態がよくない、段差や傷んでいるところがたくさんある。	令和5年2月に議会へ陳情書が提出され、現在、審議継続中です。
		基地対策特別委員会の情報が入ってこない。	市議会だよりに掲載しているので見ていただきたい。
サントピア 大竹	A班	水路の流れていないところがある、定期的に点検をしてほしい。	【土木課】 大竹市内の水路は、農業用水路と雨水排水路を兼ねた水路として管理しています。小瀬川からの取水量は太田川河川事務所と契約しており、通年において各所水路に水を流している状況です。 水の流れていない水路については、調査し、堆積土によるものであれば浚渫等の取組みを行っています。
		生活環境委員会で視察に行くと議会だよりにあるが、その内容と効果は。	障害福祉とごみ処理の施設を視察した、そっくりそのまま大竹市にはいかないが、参考になる部分を活用して取り組んでいきたい
		大竹市の将来についてどう思っているか。	《意見・要望》

おがたピア	B 班	おがたピアは2次避難所であったが、3次避難所になった。2次避難所をお願いしたい。	【危機管理課】 本市では、平成30年7月豪雨災害を経て、次のような見直しを行いました。 ①被害が市内全域に発生している状態で、担当支部だけでは人役不足等で、現場対応が後手に回る状況が生じ、他支部等から応援に向かうのも難しいという課題が浮き彫りになったため、沿岸エリア（玖波・小方・大竹）の災害対応（現場対応、物資運搬等）を受け持つグループを新たに設ける。 ②避難場所を一度に開設すると各避難所に職員が分散され、災害対応が困難になる場合があることから、密集している避難場所はある程度集約し、人員も整理して配置することで効率的な運用を可能とするため、第2次避難場所の一部を、より広域的な災害時のみ開設する第3次避難場所として編成する。 同一地区内では避難場所が集中しないよう分散させて、順次避難場所を開設すべきものと考えており、第2次避難場所は収容人数が多い施設を先行して開設することが望ましいと考えています。 おがたピアを第2次避難場所に変更することは、現時点で考えておりませんが、必要であれば「他機関及び地域で管理する避難場所」として、開設運営を地元自治会（自主防災組織）が行うことをご検討いただきたいと思います。
		現状避難所については全く進捗がない。県の危機管理部門に意見を出している。この件については議会内で取り上げてほしい。	危機管理課に伝えました。回答は上記をご覧ください。
		議会報告会を定例会ごとに行ってはどうか？	《意見・要望》
		旧小方中学校の体育館の照明が暗く活動ができない。	総務学事課に伝えました。
総合市民会館	C 班	立戸中市線は制限速度が制限速度は30キロだが守る車は少ない。子供の事故などが不安なのでゆっくり走ろうねと周知してほしい。通る車の台数を制限してほしい。制限速度を守って安全になればいい。以前、市が歩道を青く塗ってくれて、一定の効果はあったと思う。警察に道路のパトロールをお願いしても前例がないと断られた。	道を広げるなどなどができればいいのだが。玖波では危ない道路を警察がパトロールしてくれた。前例になると思う。
		大竹の特産品は何か。情報交換しながら、もっとPRすればいいのでは。	カキとかあたたハマチtoレモン等がある。大竹市のホームページの「大竹市の魅力いっぱい」のコーナーやふるさと納税の返礼品などみていただければ。